

- 帯広市内の自主防災組織(町内会)と十勝川外減災対策協議会(北海道十勝総合振興局、帯広市)が協働で防災(水害)避難訓練を開催しました。
- 避難訓練では、行政、住民の役割分担や情報伝達手法の確認を行うとともに、避難場所までの避難経路を歩き、ルートや避難時間の確認を行いました。

## 水害避難訓練 概要

**目的:**平成28年の洪水災害から1年を迎え、避難行動の確認と防災意識向上を図るため、町内会近くを流れる帯広川(北海道管理区間)で氾濫の危険性が高まったという想定で、机上訓練、要配慮者支援訓練及び避難行動訓練を実施。

**実施日:**平成29年8月30日

**実施場所:**帯広市西21新興町内会西10号会館、開西小学校

**主催:**西21新興町内会

**参加機関:**帯広市、帯広川伏古地区子どもの水辺協議会、十勝川中流部市民協働会議、地元建設会社、北海道十勝総合振興局、帯広開発建設部(役割:訓練のシナリオや関係機関連携方策についての助言を実施)

**参加人数:**約50人

参加者からは  
「今後も訓練と改善を積み重ねて、いざというときに備えたい」  
「初めての参加だったが、大変勉強になった」  
などのコメントがありました

## 水害避難訓練 実施状況



机上訓練状況

- ・北海道⇒帯広市⇒町内会への情報伝達訓練
- ・対策本部立ち上げ、模擬対策会議の実施



避難訓練状況

- ・避難場所(開西小学校)まで、実際に避難経路を歩いて、ルートや時間の確認を行った



要配慮者支援訓練状況

- ・町内の要配慮者数や住居の確認
- ・要配慮者宅から避難所までの避難支援訓練を実施